

標記映画館ノ勞働爭議其ノ後ノ状況左記ノ通

記

一 交渉状況

本月十一日午八時頃大日本映画人同盟幹部 露久保賢治
以下二名並ニ従業員代表・武山次良以下二名ハ館主大久保
親太ヲ訪向會見ヲ求メタルニ館主不在ノ為メ館主ノ息享胤
ニ會見シ従業員側ヨリ館主ハ會見ヲ避ケ居ル傾アリ 將末斯
ルコトナキ様傳言セラレタイト述ヘタルニ 享胤ヨリ父ト
協議ノ上會見ノ日時場所ヲ本日午五時ニ通知スヘシトノ回
答ヲ得 従業員側ハ之ヲ諒トシ同八時三十分頃退出セリ
四八月十四日午五時二十分ヨリ品川警察署ニ於テ勞資會見
セルヲ館主側ハ館主代理トシテ辯護士有西末吉、館主ノ息
大久保享胤 勞働指側ヨリ組合代表露久保賢治、藤井清次

従業員代表武山次良、若田久夫出席シ

有西辯護士ヨリ

本月八日通告セル解雇ハ絶対取消シ得サル事ヲ告ゲタルニ

露久保ヨリ

従業員側ハ解雇ヲ認めヌト反駁シ 次デ

有西辯護士ヨリ

日本ハ諸君ノ要求事項中第七項ハ本同盟ニ付犠牲者ヲ出

サバルコトニシテハ交渉ヲ進メ他ハ後日研究シテ回

答シタイト述ヘタルニ

露久保ハ

要求第七項ニ關シテハ絶対承認シ得サルヲ以テ同項以外

ニシテ交渉ヲ進メタイト 主被ス

有西辯護士

然ラバ要求事項ノ研究ノ都合上十六日午八時ヨリ再ビ